

第八次 宮崎県森林・林業長期計画

～持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立～

改定
計画



はじめに

本県は、温暖な気候のもと、緑豊かな自然環境に恵まれ、県土の約76%を森林が占めています。

この森林は、先人のたゆまぬ努力によって適切に維持管理されてきたものであり、木材などの林産物の供給はもとより、県土を保全し、清らかな水を貯えるとともに、二酸化炭素の吸収・固定など、多面的な役割を果たしています。

また、近年、森林の持つ生物多様性の確保が地球規模の課題として認識されており、生態系に配慮した施業により、暮らしの基盤である森林を将来にわたり受け継いでいくことがますます重要になっています。

こうした中、本県の林業・木材産業は、充実した森林資源を背景に、林内路網や高性能林業機械等の生産基盤、高度な製材加工施設等の整備が進められ、スギ素材生産量は平成3年から連続して日本一、製材品出荷量も全国2位となるなど、国内有数の木材供給基地として重要な位置づけにあります。

一方で、人口減少と高齢化が進行する中で、適正に管理されていない森林の増加や森林施業の労働力不足、主な木材需要先である住宅需要の減少などの課題に直面しております。

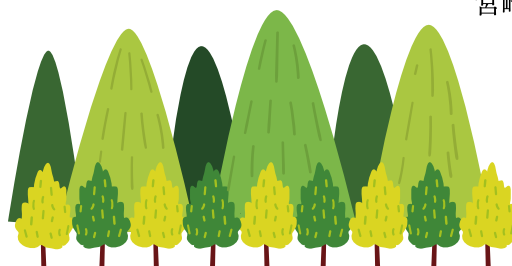
こうした情勢の変化や課題に適切に対応するため、「第八次宮崎県森林・林業長期計画」を改定し、基本目標である「持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立」に向けて、新たに、本県が長期的に目指す森林の姿を示し、木材生産機能や公益的機能といった個々の森林が持つ多面的機能がより高度に、かつ持続的に発揮される森林づくりを進めるとともに、グリーン成長プロジェクトで開始した抜本的な再造林対策等に、プロジェクト終了後も引き続き取り組むこととしました。

この計画の着実な推進により、人口減少社会にあっても本県の林業・木材産業が持続的に発展するとともに、適地適木を基本とした森林づくりにより、多様な林齢・樹種から構成され、多面的機能が高度に発揮される森林が次世代に引き継がれることを期待します。

結びに、計画の改定に当たり、熱心に検討をいただきました森林審議会の委員の皆様、また、貴重な御意見等をいただきました県民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和8年3月

宮崎県知事 河野 俊嗣



目次

第1章 計画改定にあたって	6
第1節 計画改定の趣旨	6
第2節 計画の位置づけ	7
第3節 計画期間	7
第4節 改定方法	7
第2章 森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢	8
第1節 森林・林業・木材産業を取り巻く情勢の変化	8
1 人口減少・高齢化の進行	8
2 生物多様性をめぐる近年の動き	9
3 多発・激甚化する自然災害	9
4 法律の制定等の新たな動き	9
5 木材の需要等の動向	10
6 グリーン成長プロジェクトによる再造林の推進	11
第2節 本県の森林・林業・木材産業の現状と課題	12
1 森林資源	12
2 森林整備	15
3 林業生産	18
4 木材の加工・流通	29
5 林業労働力	32
6 県土の保全	36
【トピックス】人口減少がもたらす林業・木材産業への影響	39
第3節 森林・林業・木材産業に期待される役割	41
1 森林の役割	41
2 林業・木材産業の役割	42
3 持続可能な開発目標(SDGs)への貢献	42
第3章 計画の目標と施策の基本方向	43
第1節 目指す姿と基本目標	43
1 基本的な考え方	43
2 長期的に目指す森林の姿	43
3 5年後の素材生産量と再造林率	46
4 将来の資源量予測	47
5 森林・林業・木材産業の目指す姿	48
6 基本目標	49
第2節 施策の基本方向と施策体系	50
1 施策の基本方向	50
2 施策体系	51

第4章 | 基本計画 52

第1節 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり 52

- 1 適切な森林管理の推進 52
- 2 資源循環型の森林づくりの推進 55
- 3 安全・安心な森林づくりの推進 58

第2節 持続可能な林業・木材産業づくり 61

- 1 効率的な林業経営と原木供給体制の確立 61
- 2 木材産業の競争力強化 63
- 3 県産材の需要拡大の推進 65
- 4 特用林産の振興 67
- 5 研究・技術開発及び普及指導 69

第3節 森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり 71

- 1 山村地域の振興・活性化 71
- 2 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成 74
- 3 森林を育み、支える人づくり 76

第5章 | 重点プロジェクト 78

- 重点1 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制等の充実 79
- 重点2 再造林を支える担い手・経営体の確保 80
- 重点3 林業採算性の向上を図る新技術等の実装 81
- 重点4 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大 82

第6章 | 地域計画 84

- 1 中部地域 84
- 2 南那珂地域 86
- 3 北諸県地域 88
- 4 西諸県地域 90
- 5 児湯地域 92
- 6 東白杵地域 94
- 7 西白杵地域 96

第7章 | 計画の実現に向けて 98

- 1 関係者の役割 98
- 2 国有林との連携 99
- 3 地域再造林推進ネットワークとの連携 99
- 4 計画の進行管理 99

資料編 100

- 1 主な指標における本県の現況 100
- 2 計画改定の経過等 101

第八次宮崎県森林・林業長期計画(改定計画)概要

計画改定の趣旨

計画期間:令和8~12年度

宮崎県森林・林業長期計画は、本県の森林・林業・木材産業の目標とこれを達成するための方策を示し、本県林政の基本方針となる計画です。現行計画は令和3年3月に策定され、5年を経過するに当たり、策定後の木材需要構造の変化や林業担い手の動向などの新たな情勢の変化に対応するため計画を改定しました。

森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢

情勢の変化

- 人口減少・高齢化の進行
- 生物多様性をめぐる近年の動き
- 多発・激甚化する自然災害
- 法律の制定等の新たな動き
- 木材の需要等の動向
- グリーン成長プロジェクトによる再造林の推進

現状と課題

- 手入れの行き届かない森林の増加に対応する経営管理体制の強化
- 労働力不足に対応する施策の効率化や新規就業者を含めた多様な担い手の確保・育成
- 住宅需要の減少に対応する新たな木材需要の確保と木材の高付加価値化及び木材加工流通体制の効率化
- 激甚化する山地災害及び松くい虫被害への対応

TOPICS

人口減少がもたらす 林業・木材産業への影響

今後急速に進む人口減少社会において林業・木材産業を維持していくために必要な対策

- 林業経営に適した森林での採算性の高い林業の実施
- 林業イノベーションによる更なる生産性の向上
- アルバイトや外国人材など多様な労働力の確保

森林・林業・木材産業に期待される役割

【森林】

木材等林産物の供給、安全で快適な生活環境の保全、豊かな自然環境や生物多様性の保全、地球温暖化の緩和への貢献

【林業・木材産業】

木製材品等の供給、地域経済の活性化、脱炭素社会の実現への貢献

【持続可能な開発目標(SDGs)】

森林の多面的機能による貢献

計画の目標と施策の基本方向

長期的に目指す森林の姿

適地適木を基本とした多様な林齢・樹種から構成される森林

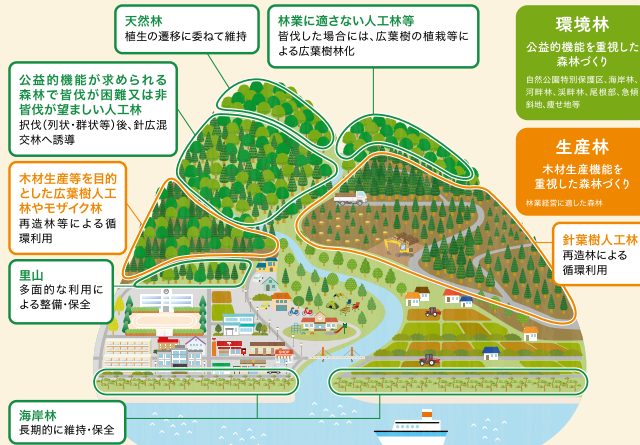
生産林 将来にわたって持続可能な林業経営を目指す森林

環境林 森林の持つ公益的機能の発揮を重視する森林

5年後の素材生産量と再造林率

木材需要の動向や将来の資源確保を考慮した5年後の目標

- 素材生産量:190万m³
- 再造林率:90%



「長期的に目指す森林の姿」のイメージ

森林の目指す姿

- 多面的機能の持続的発揮
- 齢級や樹種の構成等のバランスが取れ、多様な動植物が生息する森林

林業の目指す姿

- スマート林業や森林施業の省力化等による林業の採算性向上
- 再造林による持続的な林業の確立

木材産業の目指す姿

- 木材の加工・流通の合理化及び品質・性能が確かな製材品の安定供給
- 多様な分野での木材利用

基本目標

『持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立』 ～多様な森林づくりとイノベーションを通じて～



基本計画

多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

- ①適切な森林管理の推進
- ②資源循環型の森林づくりの推進
- ③安全・安心な森林づくりの推進



持続可能な林業・木材産業づくり

- ①効率的な林業経営と原木供給体制の確立
- ②木材産業の競争力強化
- ③県産材の需要拡大の推進
- ④特用林産の振興
- ⑤研究・技術開発及び普及指導



森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

- ①山村地域の振興・活性化
- ②林業・木材産業を支える担い手の確保・育成
- ③森林を育み、支える人づくり



重点プロジェクト

グリーン成長プロジェクトを引き継ぐ4つの柱

- 重点1 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制等の充実
- 重点2 再造林を支える担い手・経営体の確保
- 重点3 林業採算性の向上を図る新技術等の実装
- 重点4 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大



地域計画

中部
地域

南那珂
地域

北諸県
地域

西諸県
地域

児湯
地域

東臼杵
地域

西臼杵
地域